

SIIEJ2023 Session 2

「大学は留学をめぐる格差にどう向き合うか？—国際教育交流担当者の役割を考える—」 報告

日時

7月20日（木）9:00-10:20

発表者

太田 知彩（立教大学）

参加人数

32名（対面）

報告者

太田 知彩（立教大学）

本文：

本セッションでは、はじめに「留学する／しない」学生の違いについて参加者間で意見交換していただいた後に、留学をめぐる格差の実態やそのメカニズムについて紹介した。世界的には留学を通じた社会的地位の再生産に注目が集まっている一方で、日本社会では「留学の大衆化」が自明視されてきた。こうしたなかで、報告者がこれまでに実施してきた量的調査や「トビタテ生」へのインタビュー調査の結果から、日本社会においても出身階層（世帯年収や両親学歴）は留学経験や留学意欲の格差を生み出していることを報告した。その上で、階層格差のメカニズムについて、「留学できない」のではなく「留学しない」学生の社会的背景を文化的再生産論という観点から説明した。最後に、格差社会において留学を公正・平等という価値と結びつけていく方向性として、「留学できない／しない」学生に対する経済的・文化的支援や、「留学する」学生に対する「特権」の教育について報告した。